

『中小企業景況調査概況』

福井県信用保証協会では、協会利用企業者の現状を把握し中小企業の経営をサポートするため、景況調査を実施しましたので調査結果をお知らせいたします。

(当協会の利用企業は従業員20人以下の企業が約9割を占めています。)

【概要】

- ・今回(平成27年4~6月)調査における中小企業の景況感は、急激な円安の影響を受けた前回(平成26年10~12月)調査より持ち直しが見られるものの、依然としてDI値はマイナスで推移し、特に仕入価格DIは、円安に伴う原材料価格の上昇により、厳しい結果となった
- ・来期(平成27年7~9月)については、業況や売上高の改善を予想するも、他の項目では慎重な見方となった。地域経済の活性化を期待する一方で、売上・受注の減少、同業他社との競争激化、仕入価格の上昇を経営上の問題として挙げる企業が多く、引き続き不透明な経営環境が見込まれる。加えて、労働力確保、消費者ニーズの多様化、後継者問題など、経営環境の変化への対応を不安視している状況も伺えた

【保証動向】[H27. 4~6月]

- ・平成27年4~6月末の保証動向は、保証承諾減少の中、返済負担の軽減による資金繰りの安定を図る「借替資金」の割合が依然として高い。また、設備資金は、「増設」や「新設」に係る資金で増加の動きが見られたものの、保証全体に占める割合では7.3%に留まった
- ・代位弁済は、平成27年1~6月期の企業倒産増加傾向を受け、4~6月は前年比42.0%増と予断を許さない状況が続いている

【企業訪問】

- ・北陸新幹線の開業以降、受注は増加傾向にあるが、円安による材料費の上昇を販売価格に上乗せできず、利益は減少している
- ・労働力の確保が困難であるため、工事が発注されても受け入れができない
- ・消費税増税後の売上減少傾向が、今期に入りやや回復してきている
- ・人手不足により人件費が上昇している

【景況アンケート】 [当協会利用の1000企業を対象に実施、510企業が回答(回答率51.0%)]

- ・今回(平成27年4~6月)調査時のDI値は全てマイナスと低い水準、特に仕入価格DIは $\Delta 39.0$ と低い水準に留まっている
- ・設備投資を予定している企業は、前回調査より若干増加したものの、更新が中心であり、積極的な設備投資の動きは依然弱い